

## 科 目 名

# 環境文明論概説

## Outline of Civil and Environment

1年 前期 2単位 必修

森 山 聡 之

### 概 要

近年の環境史学の発展により明らかになったデータをもとに、農耕を開始して以来の人類の環境破壊の経緯を振り返る。さらにここ数10万年での気候変動を再現し、それが当時の環境や文明に与えた影響を推論するとともに、今後起こりうる気候変動とそれに伴う海面変動・自然災害の増減・生態系の変化そして人間社会に与える影響を考える。この過程で本学科で学ぶ予定の、農耕と土木技術・水循環・物質循環・森林の役割・エネルギー・生態系などを概説する。

### 目 標

- 1) 農耕の開始以降の人類が環境に与えた影響を知る
  - 2) 水と人間の関わりの歴史的経過と現在を知る
  - 3) 人類と森林のかかわりの歴史的経過と現在を知る
- をおこなうために以下の講義を行う

### 授業計画

- 1) 環境史学が示す過去の気候変動と大災害  
炭素同位体や花粉分析・年縞等による詳細な分析からわかる事
- 2) 気候変動には地域性がある  
マンモスの絶滅・モンスーンアジアの温暖化
- 3) 定住革命と農耕革命  
西アジアでの定住と農耕の開始
- 4) ヒプシサーマル期  
過去にはもっと凄い温暖化の時代があった。
- 5) メソポタミア文明とナイル文明  
森林破壊と寒冷化と環境難民
- 6) 過去のエジプトと現代のエジプト
- 7) 森林破壊で苦しむギリシア
- 8) モンスーンアジア  
定住革命は西アジアより早かった。  
黄河文明の前に長江文明があった
- 9) 水と中国の歴史
- 10) 森林と中国の歴史
- 11) グレコ・ローマ文明と西ヨーロッパの文明
- 12) 水と森林と日本の歴史(1)
- 13) 水と森林と日本の歴史(2)
- 14) われわれはどこへむかっているのか？
- 15) 試験

### 授業方法

理解を深めるために、ビデオやコンピュータによるスライドを用いた講義・演習問題の繰り返しによってすすめる。

### 学習到達度の評価

- (1) 授業中に教員より質問し理解を促す。学生からは授業中及び終了時に質問を受け、授業を補足する。
- (2) 適宜、レポートを課して、授業の理解度をチェックするとともに発展学習を促す。